

【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

東久留米市立南町小学校 第4学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることが定着していない児童が1割以上いる。</li> <li>筋道を立てて考える力や豊かに想像する力を養い、自分の考えをまとめることが定着していない児童も1割いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の国語タイムを活用して、新出漢字の学習や既習事項の復習を行い、知識や技能の定着を図る。習熟度の低い児童には、一人一人に合った学習課題を出すなどして、定着率9割以上を目指す。</li> <li>授業中に互いの意見の共通点や相違点をペアやグループで話し合う時間を意図的に設け、思考力・表現力・判断力等の育成を図る。</li> <li>支援が必要な児童には話型やヒントカードなどを渡すなどして、定着率9割以上を目指す。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数の計算、図形の作図、数量関係を表したり調べたりすることが定着していない児童が1割以上いる。</li> <li>算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、筋道を立てて考えることが定着していない児童が2割いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の算数タイムを活用して、特に計算技能についての既習事項の復習を行い、知識や技能の定着を図る。</li> <li>習熟度の低い児童には、一人一人に合った学習課題を出すなどして、定着率9割以上を目指す。</li> <li>授業中に互いの意見の共通点や相違点をペアやグループで話し合う時間を意図的に設け、思考力・表現力・判断力等の育成を図る。</li> <li>支援が必要な児童には九九表やヒントカードなどを渡すなどして、定着率9割以上を目指す。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育を楽しんでいる児童が9割以上いたが、運動をしていて、友達に教えたり、教えてもらったりしたときに楽しんでいる児童は5割程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の能力に合った課題を解決するために、ペアやグループで友達に動きを見てもらったりタブレットで動画を撮ってもらったりして、自分の動きを振り返って学んでいく良さを実感させる。技能が向上し、友達と良さを認め合う活動を多く取り入れていくことで、友達に教えたり、教えてもらったりすることが楽しいと思う児童を8割以上を目指す。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを意欲的に書こうとする児童が多いが、書けない児童も各学級に数名いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中に互いの意見の共通点や相違点をペアやグループで話し合う時間を意図的に設け、全ての児童が自分の考えを表現できるようにする。</li> </ul>

次年度に向けた  
自己評価  
(A・B・C)
